

4歳児10月

ねらい・内容

- 遊びや生活の中で、自分なりの考えやイメージを伝え合いながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
 - ・友達と一緒に思いを伝え合いながらごっこ遊びを楽しむ。
 - ・目的を持って自分なりに頑張ろうとする気持ちを持つ。
 - ・園外保育を通して、公共のマナーを知る。
 - ・身近な素材や材料を使い描いたり作ったりする。
- 戸外で友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを知る。
 - ・いろいろな遊具や用具を使い、友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。
 - ・音楽に合わせてリズムや楽器遊びなどをして表現することを楽しむ。
- 秋の自然に親しみをもち、それに触れて遊ぶ。
 - ・虫探しや木の実拾いをして身近な秋の自然に触れる。
 - ・草花・木の実・落葉などを使っての遊びを楽しむ。
 - ・種まきや球根植えをしながら、植物の成長に興味をもつ。
- 楽しい雰囲気の中で食事をし、嫌いなものでも少しずつ食べようとする。

主な子どもの姿

<生活>

- 身のまわりのこと（持ち物の始末・給食準備・片づけ）を自分から進んでする姿も見られ、認めてもらうことを喜ぶ。
 - 遊びの後や給食の前などの手洗いやうがいや身につき、自分からしようとする子どももいるが、教師の声かけによって気付く子どもの姿も見られる。
 - 運動遊びが活発になり、食欲も出てきて、給食を楽しむ姿がある。
- #### <遊び・人との関わり>
- 気の合う友達に自分の思いを伝えながら遊ぶ姿が見られ、砂・土・水に関わりながら存分に遊び、それぞれがしたいことを出しながら、ダイナミックな遊びが展開される。
 - 戸外遊びが活発になり、気の合う友達と簡単なルールのある遊びを楽しむ。
 - 友達との共通のイメージを持って遊びを考えたり遊びに必要なものを作ったりする。
 - 年長児の遊びに興味を持ち、関わって遊んだり模倣して遊んだりする。
 - 遊びのイメージの共有ができ始める。しかし、友達の思いとぶつかったりして、トラブルが起こることがある。

環境構成と教師の援助

環境構成

- 子どもが体をしっかり動かして遊ぶことができるように、戸外遊びの環境を整え、安全に配慮していく。
- 遊びに必要なものを、使いやすいところに出しておく。（制作コーナー・戸外で使う遊具・用具・運動会の再現遊びなど）
- 運動会で使う曲のカセットテープや用具を身近に用意しておき、いつでも楽しめるようにする。
- 風・雲の動きなど、夏から秋に移る変化に気付いたりする機会を持つ。
- 木の実を分類して置いたり、季節感のある絵本や図鑑を用意したりして、秋の自然に興味を持ち触れるきっかけをつくる。
- 一人一人の作りたいものが実現できるように素材などを準備する。（ドングリ・マツボックリ・木の葉・カラーポリ袋・和紙など）

教師の援助

- 友達と一緒に遊ぶ中で、頑張ったり励まし合ったりする姿を大切に受けとめ、嬉しさややってみようとする気持ちなどが持てるようにする。
- 子どもと一緒に遊び、体を動かして遊ぶ心地良さを、保育者も共感する。
- 年長児の遊びに刺激されて、いろいろな遊びに気付いたり、模倣したり、教えてもらったりという姿を大事にしていく。
- 気の合う友達とイメージを共有して遊ぶ姿が見られるので、一人ひとりのイメージを大切にする。また、友達同士の仲立ちも必要に応じてする。
- 自然の変化に対する子どもの気付きや驚きや喜びを受けとめ、教師の感じたことなども伝え共感していく。
- 園庭にある自然物の状態を教師が把握しておき、それらを使っての遊びをタイミングよく紹介したり遊びのきっかけを作ったりして、子どもが秋の自然にしっかり触れて遊べるようにする。
- 自分から進んでいろいろな食べ物を食べようとする気持ちになるよう、保健指導などを通して、栄養素の働きを知らせる。

10月	4歳児		準備物	教師の願い	
行事	運動会（4日）	ドングリ拾い	保健指導・体重計測（21日） 遠足（20日）	誕生会（30日） 国公幼研究会（28日）	
あそびと環境構成	室内	<p>遊びや生活の中で友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうた</p> <p>制作遊び 必要なものを作る</p> <p>箱・トレイ・芯やカップなどのいろいろな素材・テープホッチキスなどの用具・作った物を飾る場</p> <p>経験したこと(遠足)を自分なりに表現する</p> <p>ままごと遊び</p> <p>ソフト積み木やソフトマット・人形・ままごとセット</p> <p>市立動物園遠足</p> <p>見たこと経験したことを表現する 絵を描く、素材などで作る</p>			
	室外	<p>園外保育 近くの山にドングリ拾いに行く</p> <p>園外保育 岡山神社へ木の実や葉っぱ集め</p> <p>園外保育 近くの山へ木のや落ち葉拾いに行く</p> <p>いろいろな落ち葉の遊び</p> <p>踊りを踊る なりきって遊ぶ</p> <p>カセットデッキ・子どもの好きな曲のカセットテープ・ステージ用の積み木・衣装・ポンポン・ベンチ など</p> <p>手作り楽器</p> <p>（ドングリ転がし・アクセサリー作り・楽器作り など）</p> <p>楽器遊び</p> <p>秋ならではの遊びを、のびのびと楽しめるよ</p> <p>ドングリやマツボックリなどの木の実・ススキ・落ち葉・糸・ダンボール・牛乳パック・板 など</p> <p>運動会ごっこ（リレーごっこ・リズムなど）</p> <p>バトン・ゼッケン・樽太鼓・</p> <p>自然物を使っての遊び</p> <p>ヨウシュヤマゴボウやマリーゴールドなどの木の実や花・ビニール袋・すり鉢・すりこぎ・ペットボトル・虫捕り網・虫捕りかご など</p> <p>おにごっこ</p> <p>縄遊び</p> <p>ボール遊び</p>			
保育資料	<p><歌・手遊び・リズム遊び></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりころころ ・やきいもグーチャーパー ・きのこ ・じゃんけんパラダイス ・昆虫太極拳 	<p><絵本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさいむらのうんどうかい ・さつまのおいも ・もりいちばんのおともだち ・10びきのかえるのうんどうかい ・14びきのおぎまつり ・ぐりとぐらのえんそく ・ねずみのいもほり 	<p><集団遊び></p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃんけん遊び ・おにごっこ 	<p><飼育栽培></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チューリップの球根植え ・ヒヤシンスの栽培 	<p><絵画制作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面制作（ドングリ、クリ葉）：（染物、吹き絵、スクラッチ、はじき絵、葉っぱスタンプ） ・チューリップの立て札（油性ペ

月のねらい
 ○遊びや生活の中で、自分なりの考えを出し合いながら、友だちとの遊びを楽しむ。
 ○戸外で友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを知る。
 ○秋の自然に親しみをもち、それに触れて遊ぶ。
 ○楽しい雰囲気の中で食事をし、嫌いなものでも少しずつ食べようとする。

先週の子どもの姿からの願い

・色水作りやリズム遊び、ままごと遊びを繰り返し楽しむ中で、友達と遊び方などを教え合う姿が出てきている。その中で友達との繋がりがもってきているが、友達同士での決めつけも見られるようになってきた。友達に自分なりの言葉で聞いたり、教えたりする姿を認めながら、決めつけが固定しないようそれぞれの良いところを全体で取り上げたり、トラブルになった時には丁寧に話をしたりしていきたい。
 ・鬼ごっこやじゃんけん遊びなど、簡単なルールのある遊びを友達や教師と楽しんでいる。ルールを理解し、思い切り遊びを楽しむ子どもが多いが、ルールを理解しきれず、友達とトラブルになる子どももいる。教師が子どもと一緒に遊びを楽しみながら遊び方を丁寧に伝えていきたい。また、遊びを繰り返し楽しむ中で自分で遊びのルールを作ったり、遊びを変化させたりしているよう傍で見守ったり、友達の声に気付いたりできる声をかけていきたい。
 ・箱の中にドングリを入れて音を鳴らして遊ぶ遊びから、ダンボールで作った坂を一気に転がすような遊びに変化してきている。また、箱・芯・牛乳パックなどを繋いでドングリ迷路を作ったり、箱の中でドングリを転がして遊ぶ様子が出てきている。子ども達が友達の遊びに目を向けたり、一緒に工夫して遊んだりできるようにしていきたい。

- *歌*手遊び*リズム*
- ・どんぐりころころ
 - ・まつぼっくり
 - ・やきいもグーチーパー
 - ・昆虫太極拳
 - ・バシッときめたいそう

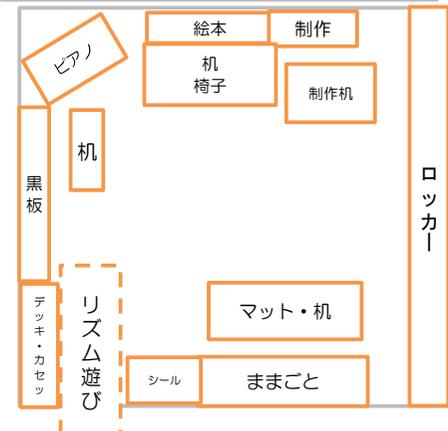
- *絵本*ペープサート*パネルアター*
- ・どんぐりむらのばんやさん
 - ・もりいちばんのおともだち
 - ・さつまのおいも
 - ・まつぼっくり

①友達と自分の考えや思いを出し合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

★遊びに必要な素材（箱・芯・爪楊枝・ペンなど）を使いやすい場所に置いておき、子どもが自分の遊びやイメージに合わせて選べるようにしておく。
 ★子どもの好きな曲のカセットテープ・衣装・マイク・楽器などを用意しておき、子どもがなりたいようにしておく。

◎友達との遊びが盛り上がるにつれ、思いのふつかり合いでトラブルになることがある。また決めつけが出てきているので、子ども達の様子や関わり方を見ながら必要に応じて仲立ちをし、子ども達が気持ちの折り合いをつけたり、相手の思いに気付いたりするようにしていく。
 ◎友達の話していることに耳を傾け、聞こうとする態度になるよう「〇君が何か言ってるよ」「…君はどう思う？」などの声かけをしていく。

ねらい	①友達と自分の考えや思いを出し合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ②身近な秋の自然に親しみ、観察したり遊びに取り入れたいりする。	内容	○気の合う友達との遊びを楽しむ中で、自分の思いを伝えようとする。 ○友達にも思いがあることに気づき、耳を傾けようとする。 ○落ち葉やドングリなどの木の実に関心をもち、集めたり、遊びに使ったりする。 ○自分の考えを伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら一緒に遊ぶ。
-----	---	----	--



	26日(月)	27日(火)	28日(水)	29日(木)	30日(金)
一斉活動	○ドングリ転がし ・ダンボールや筒などの素材を使いながら、ドングリを転がすことを楽しむ。 ○鬼ごっこ ・遊び方がわかり、友達と鬼ごっこを楽しむ。	○ケーキ作り ・ドングリや木の実、紙粘土を使いながらケーキを作ることを楽しむ。	○国幼研究大会 10:40 降園	○線遊び ・曲線や直線の違いを意識しながら丁寧に書く。 ○「じゃんけんゲーム」 ・遊び方がわかり、友達と一緒にじゃんけんゲームを楽しむ。	○誕生会 ・10月生まれの友達をみんなで祝う気持ちを持つ。

次の日に繋がる援助	<p><リズム遊び> 子どもが曲に合う衣装を意識するような声かけをしていく。観客になる時、盛り上げ方を工夫する。 <ドングリ遊び> ドングリを斜面で転がすことを楽しむ子どもと、素材で道を作って転がすことを楽しむ子がいる。一気に転がしたい子が作り途中の道で転がすため、遊びが雑になる様子があった。それぞれの遊びが保障できるように遊びの目的を確認していく。（場を分け、保障していく）</p> <p><積木> それぞれの作りたい物のイメージが作っている間に向となく一つになり楽しんでいる。積み木の安全な使い方を意識できる声かけをしながら、K・Sなどの遊びにはTも加わって、タイミングを捉えながら友達と繋いでいくようにする。</p>	<p><リズム> 曲と衣装を意識する様子が最初はあったが、続けて踊りたい気持ちが強く、途中からは同じ衣装になっていた。子ども達の気持ちを大切にしながら、楽しい気持ちに共感していく。 <ドングリ遊び> 前日のように遊びが複雑する様子は少ない。新たに道を作るより、昨日作った道で遊ぶ姿があった。斜面を広げ、新たに道が作れるように準備する。思いっきりドングリを転がしたい子の場も用意しておく。</p> <p><積木> 誤行錯誤の場面で、良いアイデアを言っているも主張の強い子に押し返され、言い争いの子もいる。遊びの全体を引っ張っている子の口調が強い場面が目立つ。主張しにくい子が思いを友達に伝える援助をしながら、言葉の強い子には伝え方</p>
-----------	--	--

生活習慣

◎あいさつや返事の大切さ（相手を見て、聞こえる声で）を教師が手本になりながら繰り返し伝え、子どもが意識できるようにしていく。
 ◎手洗いの後、ハンカチを使わない子どもが多いので、丁寧に声かけをしていき、ハンカチを使うことが習慣になるようにしていく。
 ◎朝と日中の温度差が大きくなるので、自分で衣服の調節ができるよう声をかけていく。また、脱いだ服の始末を丁寧に伝えていく。
 ◎給食の時、食器を持って食べられるよう繰り返し声をかけたり、家庭にも伝えていく。

②身近な秋の自然に親しみ、観察したり遊びに取り入れたいりする。

★木の実・木の枝・葉などを分類して置いておき、子ども達が選んで遊べるようにしておく。
 ★ドングリなどの木の実や秋の虫などの図鑑や絵本を目に付くところに置いておき、子ども達がいつでも見られるようにしておく。
 ★教師がドングリで作った飾りや子ども達が自分で作った作品を飾り、興味をもった子どもが作りたいときに作れるようにしておく。
 ★虫取り網やかごを保育室前に用意しておき、いつでも使えるようにしておく。

◎ドングリ虫集め、ドングリ転がし遊びなど、子どもと一緒に楽しみながら、子どもたちが秋の自然に興味を持って遊べるようにしていく。
 ◎子ども達が登園途中や家で葉っぱや木の実を拾ってくる姿を大切に、そこから興味が広がっていくようにする。
 ◎子ども達が秋の自然に興味を持った時や遊びの工夫をしている時などの機会を逃さず、クラスでの話題にしたり興味を広げていくように関わったりしていく。
 ◎雲の動き・風の冷たさ・園庭の草花の変化などを教師自身が把握しておき、その時々子ども達に伝えられるようにしておく。保育者の感じたことを言葉で伝えながら秋の自然を共に感じていく。

週の反省

保育指導案（4歳児）

○子どもの姿と教師の願い

集団経験が初めての子どもが半数以上でのスタートであった。

一学期、好きな遊びの時間には、自分で好きな遊びや興味のある遊びを選び落ち着いて遊ぶ姿、いろいろな遊びを転々とする姿、教師のそばで遊ぶ姿などが見られた。

当初から友達を求めて遊ぶ子どもが多く、気の合う友達を見つけては手を繋いで、同じ場で一緒に遊ぶ姿が見られた。その中で、自分の思いを主張し押し通そうとする子と、自分の思いが言えず押されてしまう子に分かれており、トラブルになる前に諦めたり我慢したりするためトラブルが少なかった。また、相手の言葉に反応したり、意思表示したりすることが難しく、問いかけても反応のない子どもも数名いた。

そこで、友達や教師との触れ合い遊びやリズム遊び、二人組でのペア活動を取り入れ、友達の存在を感じたり、「友達と遊ぶことが楽しい」を味わいながら教師との信頼関係ができていくようにと考え、丁寧な関わりをしていった。また、自分の思いを言葉で表現できるようになって欲しいと考え、関わりに必要な言葉を遊びを通して伝えるようにしていった。

二学期、一学期に楽しんでいたソフト積み木遊びやままごと遊び、リズム遊びなどを自分なりのイメージを持って引き続き楽しんでいる。また、園庭のマリーゴールドやヨウシュヤマゴボウ、サルビアなどを使った色水遊びや運動会で経験したことを再現しながら体を動かして遊ぶことを楽しむ様子がある。また、クラスの数名の子どもが家から拾ったドングリを園に持って来たことや、ドングリ拾いに行ったことをきっかけに、ドングリやマツボックリなどの木の実を使って飾りを作ったり、音を鳴らして遊ぶ様子も出てきている。

子ども達は友達関係も少しずつできてきており、友達を誘って一緒に遊びながら友達の真似をしたり、4歳児なりに共通のイメージを持って遊びを展開したりする姿が増えてきている。その中でトラブルが出てきたり、友達への決めつけも見られたりするようになってきている。また、気の合う友達と遊びの場を共有するが、友達の気持ちが分からなかったり、自分の思いを上手く伝えられなかったりする支援の必要な子どももおり、教師の仲立ちが必要である。

そこで、教師は子ども達一人一人が「友達と一緒に遊ぶことが楽しい」と感じる中で、のびのびと自分の気持ちを表現し、それを認められる満足感や充実感を味わえるようになって欲しいと願っている。子ども達のそばで遊びを見守りながら、必要に応じて遊びに加わったり気持ちの伝え方を知らせたり、代弁をしたりしていきたい。そして、友達の素敵などところに目が向くきっかけを作していきたい。また、この時期ならではのドングリや落ち葉などの自然物に興味を持ち、遊びに取り入れ、自分なりに遊びを工夫する楽しさを感じて欲しい。子ども達が秋の自然物を遊びに取り入れたくなるような環境構成を工夫していきたい。また、年長児の遊びに関心が向くような声かけや場の工夫をし、興味を持って見て真似たり、憧れが持てたりするような関わりをしていきたいと考える。

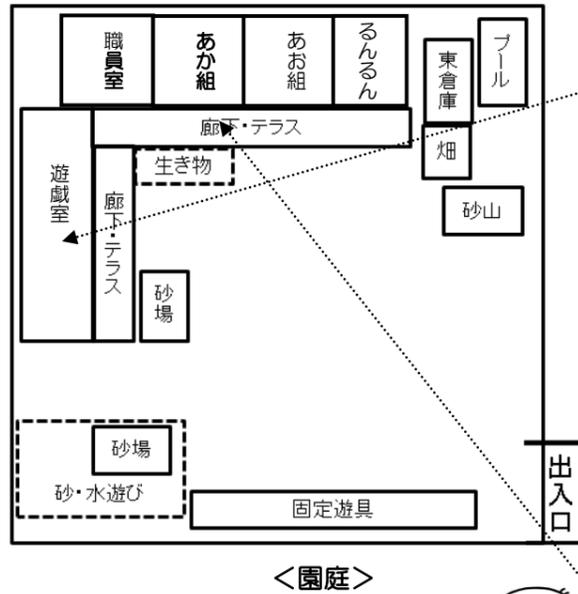
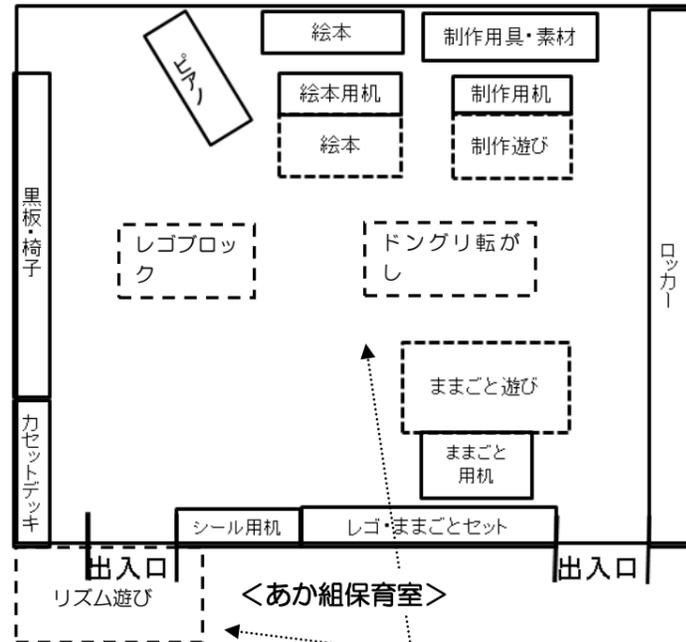
ね ○友達と自分の考えや思いを出し合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
ら ○身近な秋の自然に親しみ、観察したり遊びに取り入れたりする。
い

内容

○気の合う友達との遊びを楽しむ中で、自分の思いを伝えようとする。
○落ち葉やドングリなどの木の実に関心を持ち、遊びに使ったりする。
○自分の考えを伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら一緒に遊ぶ。



★環境構成 ◎教師の援助 **子どもの姿** *振り返りからの援助



《大型・ソフト積み木遊び》

友達と思いを出し合いながらダイナミックに城や秘密基地、船や滑り台などを作ることを楽しんでいる。また、作ったものを釣堀や温泉に見立てて遊ぶ姿も見られる。一緒に作っているが、思いのぶつかり合いでトラブルになる場面も多い。

- ★友達との関わりが増え、より遊びが盛り上がるよう、保育室に置いていたソフト積み木を遊戯室で使えるように子どもと一緒に移動する。
- ★他の遊びも見ながら、十分楽しめるように場作りをしていく。
- ◎友達と声をかけ合って積み木を一緒に持ったり、「こどうする?」と話しながら作ったりする姿を認め、友達と関わる楽しさを子ども達が感じられるようにする。
- ◎思いの違いでトラブルになった時は解決を急がず、子ども達が自分の思いを主張する様子や折り合いをつけようとする様子を近くで見守り、必要に応じて間に入って思いの橋渡しをしたり、話を整理したりする。
- ◎用具の扱いが雑になる様子があるので、丁寧に用具を扱っている子どもを認める声かけをし、他の子ども達が気付けるようにしていく。

* 自分達の思いを言い合いながら子ども達なりに遊びを進めていく様子と、一人の遊びを楽しむ様子に分かれている。前者の子ども達の遊びは、近くで見守りながらトラブルや試行錯誤場面の必要な時に遊びに加わっていく。後者の子どもの遊びには、その子なりに遊びを楽しむ様子を見守りながら、タイミングを見て子どもが友達を意識したり繋がったりできるような関わりをしていく。

《制作・ドングリ遊び》

素材を使い、思い思いに制作遊びを楽しむ姿がある。また、遊びに必要な物を作って、それを使う姿が多く見られるようになってきている。また、作ったものの中にドングリを入れ、音の出るおもちゃを作ったり、筒や牛乳パックをダンボールに張り付けてドングリを転がして遊んだりする姿も見られている。

- ★子ども達がイメージした物や作りたい物を自分なりに工夫して作れるよう、いろいろな種類の素材や木の実などを用意し扱いやすいようにしておく。また、子ども達の遊びの様子に合わせて場を広げ、のびのびと制作遊びができるようにする。
- ★ドングリ転がしの道を増やしたり、繋いだりして遊べるよう、箱やいろいろな長さの筒、牛乳パックや切って筒型にしたペットボトルなどを置いておき、いつでも使えるようにしておく。
- ◎友達の遊びに興味を持ち、「やってみたい」という気持ちや真似する様子が出てきているが、友達に聞きたくても「教えて」「どうやるの」と自分から言葉で伝えられない様子もあるので、近くで様子を見守ったり、「友達に聞いてみるといいよ」「〇君、△君が何か聞きたいんだって」など、きっかけになる声かけをしたりする。
- ◎年長児にドングリに穴を開けてもらったり、飾りの作り方を教えてもらったりして関わりが持てるように、場を工夫したり、遊びを紹介したりする。

- * コロコロゲームをダイナミックに作って遊べるよう、大きなダンボールで斜面を作っておき、子ども達がいつでも作って遊べるようにする。
- * ドングリを一気に転がしたい子が、制作途中の斜面で転がすため、遊びが雑になる様子がある。それぞれの遊びが保障できるよう、場を分けたり遊びの目的を確認したりしていく。

《リズム遊び》

ボンボンやアイドル・ラーメン体操などの衣装を着て音楽をかけながら、自分なりの表現で踊ったりすることを楽しんでいる。また、運動会で年長児の踊った樽太鼓やソーラン節に憧れの気持ちを持ち、はっぴやはちまきを着けて踊ることも楽しんでいる。その中で、カセットデッキ係や太鼓、踊りなどに分かれて遊びを楽しむ姿や、友達にカセットデッキの使い方を教えたりする姿も見られる。

- ★子ども達がこれまで親しんできたリズム遊び(ラーメン体操・昆虫太極拳・うんとこどっこい運動会など)の音楽や、子ども達が興味のある曲のカセットテープ(うんとこソーラン・ありのままなど)を置いておき、扱いやすいようにしておく。
- ★子ども達の遊びの様子や人数によって、ステージの大きさや場(保育室前からテラス外の芝生)を変えられるようにしていく。
- ◎子ども達が遊びを楽しむ様子ややり取りを観客になって見守り、子ども達の遊びが盛り上がる声かけ(握手やアンコール、楽器を鳴らすなど)をする。

* 自分のお気に入りの衣装があり、こだわる姿も見られたので、今は楽しく表現することを大切にするため、子ども達が踊りのイメージに合わせて衣装を変えられるよう、色々な衣装を多めに用意しておく。

